

## 平成18年度の医療安全管理の取組について

平成19年6月28日

公立大学法人横浜市立大学

附属病院

附属市民総合医療センター

## 目 次

I	一括公表事案	.....	1
II	インシデント報告の状況	.....	2
III	入院患者アンケート調査結果	.....	4
IV	主な改善検討事例	.....	6

一括公表  
 附属病院

1	<p>平成18年4月、手術終了時に医師が無影灯を操作中に、无影灯のハンドルが落下し、患者の上顎の歯牙が破折（2～3mm）した。同日中に歯科治療を行い、入院中に歯科治療は終了した。（患者10代、女性）</p> <p>&lt;再発防止策&gt;          无影灯のハンドルの取り付け時ならびに術後の操作では、ハンドルが確実に无影灯に固定されていることの確認を徹底した。</p>
2	<p>平成18年12月、正確な放射線治療やCT検査を実施するため、口腔内の金属（ブリッジ）を除去（金属による画像の乱れ防止）する必要があり、医師が金属切除用バーにより切除を行った。切除後、バーを口腔内から撤去する際、バーの作動停止確認が不十分な状態で移動したため、口唇が傷つき5針縫合した。（患者50代、男性）</p> <p>&lt;再発防止策&gt;          口腔内からバーを出す際には、声を出して作動停止確認を行うことを徹底した。</p>

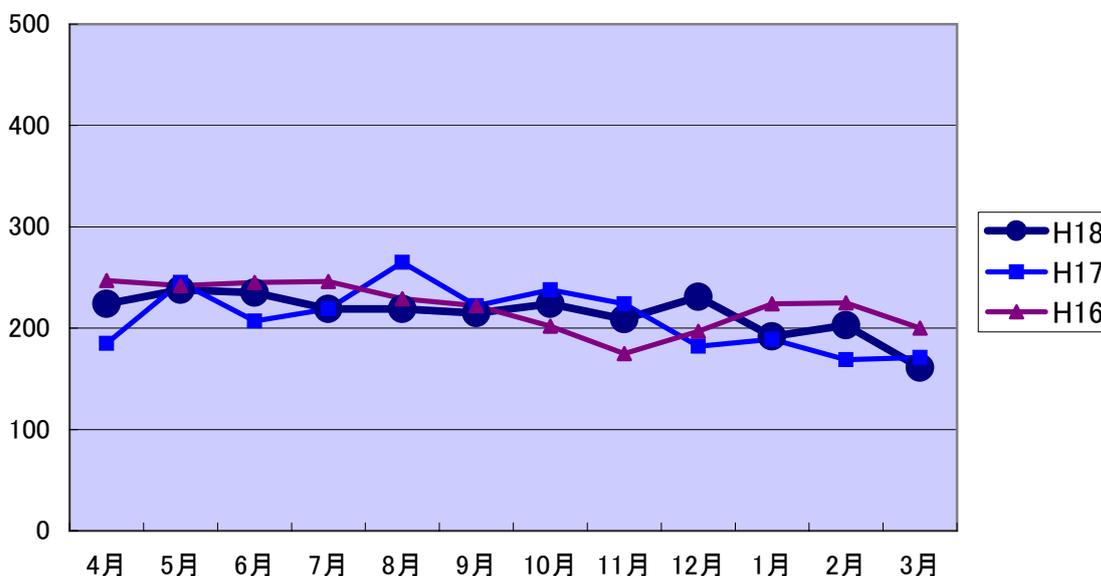
センター病院

1	<p>平成18年4月、MRI撮影検査時、患者の左右の大腿皮膚が接触していたため、磁気の変化に伴って生じた電流で、大腿内側に熱傷（5mm程の水疱）が生じ、軟膏塗布の処置をした。（患者50代、男性）</p> <p>&lt;再発防止策&gt;          検査着をガウン式からパジャマ式に変更するとともに、高磁場、高周波による危険性に関する安全教育を現場職員に実施した。</p>
2	<p>平成18年5月、手術中に医師が手術器具に手を伸ばす際、電気メスのスイッチに触れ通電したため、患者の腹部表皮に発赤（鉛筆の先程）を生じさせた。軟膏を塗布し、翌日には発赤は、ほぼ消失した。（患者20代、女性）</p> <p>&lt;再発防止策&gt;          手術中に電気メスを使わないときは、ドレープ（患者を覆う布）のポケット内あるいは今回、配備した電気メスのホルダー内に収納することを徹底した。</p>
3	<p>平成18年9月、手術時、癌の転移を確認する色素として使用する<sup>注1</sup>パテントブルーを注入すべきところ、医師が誤ってピオクタニン<sup>注2</sup>を約1.5ml注入した。退院後1ヶ月位経っても、青色の色素沈着が残存したため、その部分を切除し、近くの皮膚で覆う処置を行った。（患者60代、女性）</p> <p>注1. パテントブルー；リンパ節を術中に同定して癌の転移の有無を調べる生体染色液。          注2. ピオクタニン；切除ラインを皮膚にマークするための生体染色液。</p> <p>&lt;再発防止策&gt;          薬剤部でパテントブルーとピオクタニンの瓶にラベルシールを貼り表示を明確にした。また、手術時の確認を適切に行うために、手術室ではピオクタニンは注射器に入れて用意することとした。術者には、指差し呼称確認を推進した。</p>

# I インシデント報告の状況（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

## 1 附属病院

### (1) インシデント報告の月別件数



### (2) インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数	月平均		構成比	提出率		職員数
		月平均	昨年度月平均		昨年度	昨年度	
医師	103	8.6	8.8	4.0%	4.2%	3.9%	218
看護師	2150	179.2	175.6	83.7%	83.7%	31.7%	565
コ・メディカル	272	22.7	24.0	10.6%	11.4%	14.1%	161
事務・その他	45	3.8	1.3	1.8%	0.6%	6.9%	54
合計	2570	214.2	209.7	100.0%	100.0%	21.5%	998

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)  
 ※ 職員数は18年度(4月～3月)の月平均現在員数

### (3) インシデント報告の事象別内訳

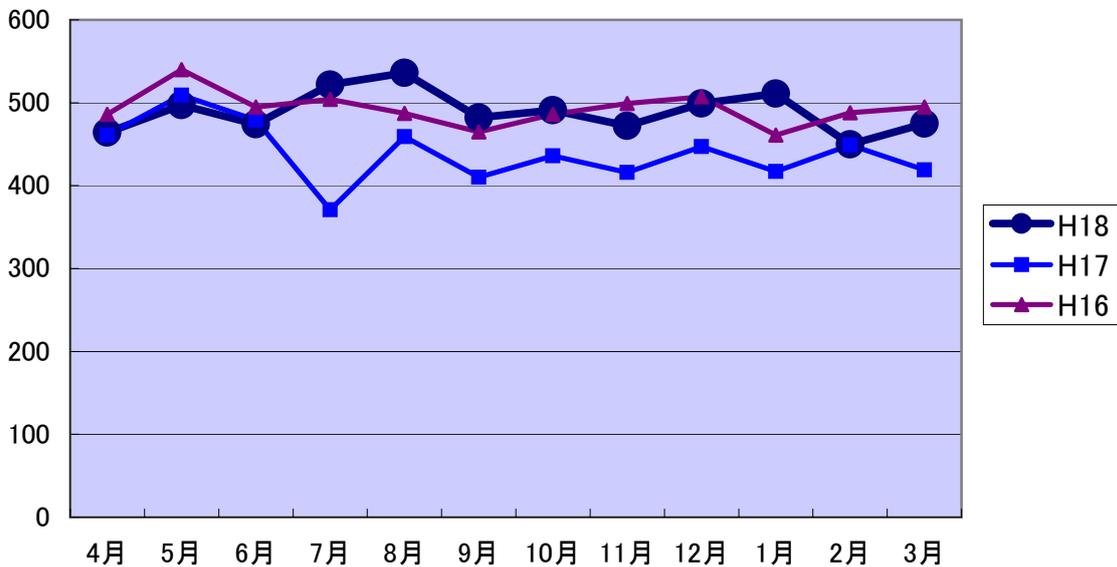
事象	件数	月平均		構成比	昨年度
		月平均	昨年度月平均		
手術・鎮静・麻酔	53	4.4	6.0	2.1%	2.7%
処置・治療・訓練	100	8.3	8.4	3.9%	3.8%
輸血	15	1.3	1.8	0.6%	0.8%
薬剤	1018	84.8	81.0	39.6%	36.6%
ルート・チューブ	448	37.3	36.8	17.4%	16.6%
検査	195	16.3	21.4	7.6%	9.7%
転倒・転落	350	29.2	28.3	13.6%	12.8%
ME機器・医療器械	85	7.1	8.7	3.3%	3.9%
食事	62	5.2	4.7	2.4%	2.1%
外傷	15	1.3	1.5	0.6%	0.7%
その他	229	19.1	22.8	8.9%	10.3%
合計	2570	214.2	221.3	100.0%	100.0%

### (4) インシデント報告の場所別内訳

事象	件数	月平均		構成比	昨年度
		月平均	昨年度月平均		
病室	1627	135.6	127.8	63.3%	61.0%
病棟処置室	66	5.5	6.5	2.6%	3.1%
廊下	60	5.0	5.4	2.3%	2.6%
トイレ	76	6.3	6.3	3.0%	3.0%
浴室	9	0.8	0.9	0.4%	0.4%
外来診察室・処置室	92	7.7	8.7	3.6%	4.1%
外来待合	5	0.4	0.4	0.2%	0.2%
手術室	70	5.8	8.0	2.7%	3.8%
検査室	135	11.3	12.7	5.3%	6.0%
訓練室	34	2.8	1.2	1.3%	0.6%
薬剤部	65	5.4	5.6	2.5%	2.7%
売店・理髪室等	1	0.1	0.1	0.0%	0.0%
ナースステーション	163	13.6	12.8	6.3%	6.1%
その他	167	13.9	13.3	6.5%	6.4%
合計	2570	214.2	209.7	100.0%	100.0%

## 2 センター病院

### (1) インシデント報告の月別件数



### (2) インシデント報告の職種別内訳と提出率

職種	件数	月平均		構成比	昨年度	提出率		職員数
		月平均	昨年度月平均			昨年度	昨年度	
医師	205	17.1	25.7	3.5%	5.8%	12.7%	20.1%	134
看護師	5374	447.8	386.3	91.5%	87.9%	62.5%	51.6%	716
コ・メディカル	276	23.0	23.8	4.7%	5.4%	14.2%	14.2%	162
事務・その他	18	1.5	3.6	0.3%	0.8%	2.7%	6.1%	55
合計	5873	489.4	439.4	100.0%	100.0%	45.5%	39.8%	1075

※ 提出率(%)=(職種ごとの1ヵ月当たりの提出件数)÷(職員数)

※ 職員数は18年度(4月～3月)の月平均現在員数

### (3) インシデント報告の事象別内訳

事象	件数	月平均		構成比	昨年度
		月平均	昨年度月平均		
手術・鎮静・麻酔	87	7.3	16.5	1.5%	3.8%
処置・治療・訓練	1086	90.5	66.4	18.5%	15.1%
輸血	26	2.2	2.3	0.4%	0.5%
薬剤	1644	137.0	126.3	28.0%	28.7%
ルート・チューブ	1405	117.1	110.7	23.9%	25.2%
検査	326	27.2	27.3	5.6%	6.2%
転倒・転落	722	60.2	48.1	12.3%	10.9%
ME機器・医療器械	184	15.3	16.9	3.1%	3.8%
食事	72	6.0	6.3	1.2%	1.4%
外傷	73	6.1	2.3	1.2%	0.5%
その他	248	20.7	16.3	4.2%	3.7%
合計	5873	489.4	439.4	100.0%	100.0%

### (4) インシデント報告の場所別内訳

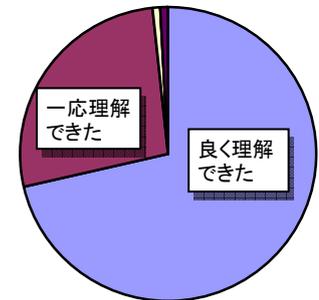
事象	件数	月平均		構成比	昨年度
		月平均	昨年度月平均		
病室	4267	355.6	305.3	72.7%	69.5%
病棟処置室	192	16.0	7.8	3.3%	1.8%
廊下	132	11.0	9.3	2.2%	2.1%
トイレ	88	7.3	7.3	1.5%	1.6%
浴室	18	1.5	1.1	0.3%	0.2%
外来診察室・処置室	206	17.2	11.3	3.5%	2.6%
外来待合室	45	3.8	3.2	0.8%	0.7%
手術室	65	5.4	10.6	1.1%	2.4%
検査室	173	14.4	29.0	2.9%	6.6%
訓練室	11	0.9	2.0	0.2%	0.5%
薬剤部	80	6.7	16.5	1.4%	3.8%
売店・理髪室等	0	0.0	0.4	0.0%	0.1%
ナースステーション	462	38.5	35.7	7.9%	8.1%
その他	134	11.2	4.4	2.3%	1.0%
合計	5873	489.4	439.4	100.0%	100.0%

## Ⅱ 入院患者アンケート調査結果（平成18年4月～平成19年3月）

### 1 附属病院

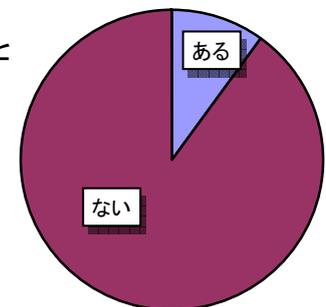
設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

	18年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
良く理解できた	839	71.4%	73.2%
一応理解できた	317	27.0%	24.9%
余り理解できなかった	8	0.7%	0.4%
全く理解出来なかった	0	0.0%	0.2%
その他	11	0.9%	1.3%
合計	1175	100%	100.0%



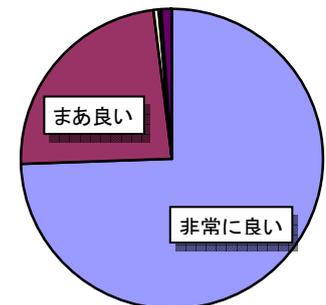
設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

	18年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
ある	117	10.0%	10.8%
ない	1058	90.0%	89.2%
合計	1175	100%	100.0%



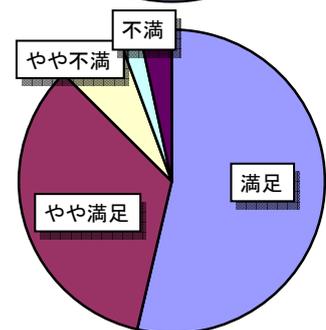
設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	18年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
非常に良い	875	74.5%	76.5%
まあ良い	276	23.5%	22.1%
やや悪い	7	0.6%	0.5%
非常に悪い	3	0.3%	0.1%
分からない	14	1.2%	0.7%
合計	1175	100%	100.0%



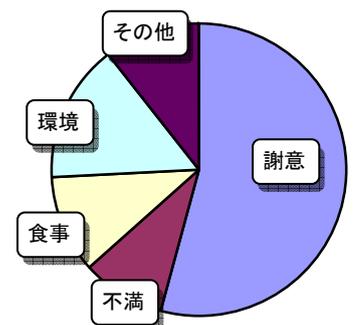
設問4 病室、トイレ、ディールーム、食事など療養環境について

	18年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
満足	631	53.7%	58.1%
やや満足	398	33.9%	27.7%
やや不満	81	6.9%	8.5%
不満	26	2.2%	2.3%
なんとも言えない	39	3.3%	3.4%
合計	1175	100%	100.0%



設問5 その他の意見

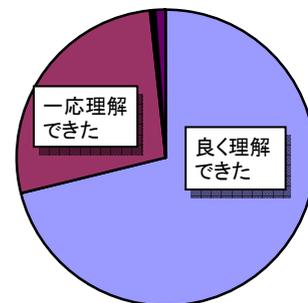
	18年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
医師、看護師等に対する謝意	517	54.1%	53.4%
医師、看護師等に対する不満	89	9.3%	10.2%
食事に関する要望	103	10.8%	8.5%
環境整備に関する要望	146	15.3%	16.6%
その他	101	10.6%	11.3%
合計	956	100%	100.0%



## 2 センター病院

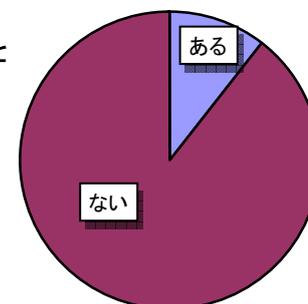
設問1 病状や治療方針の説明はわかり易かったですか

	18年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
良く理解できた	1063	71.2%	70.4%
一応理解できた	404	27.1%	26.9%
余り理解できなかった	7	0.5%	1.6%
全く理解出来なかった	2	0.1%	0.0%
その他	17	1.1%	1.0%
合計	1493	100%	100.0%



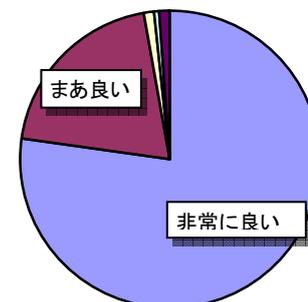
設問2 治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他、気づかれたことや不満に思われたこと

	18年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
ある	144	10.5%	11.4%
ない	1227	89.5%	88.6%
合計	1371	100%	100.0%



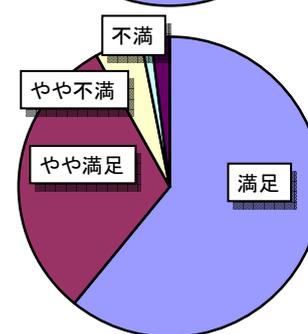
設問3 医師、看護師、薬剤師、技師などの対応について、どう感じたか

	18年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
非常に良い	1153	77.2%	75.8%
まあ良い	300	20.1%	20.7%
やや悪い	17	1.1%	1.8%
非常に悪い	5	0.3%	0.7%
分からない	18	1.2%	1.0%
合計	1493	100%	100.0%



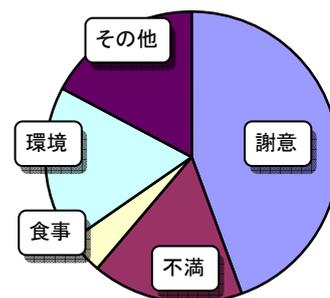
設問4 病室、トイレ、ディールーム、食事など療養環境について

	18年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
満足	910	61.0%	62.0%
やや満足	461	30.9%	31.0%
やや不満	78	5.2%	4.0%
不満	16	1.1%	1.5%
なんとも言えない	28	1.9%	1.5%
合計	1493	100%	100.0%



設問5 その他の意見

	18年度 合計		昨年度 比率
	回答数(件)	比率	
医師、看護師等に対する謝意	732	44.3%	38.1%
医師、看護師等に対する不満	279	16.9%	18.2%
食事に関する要望	66	4.0%	4.5%
環境整備に関する要望	291	17.6%	20.1%
その他	284	17.2%	19.1%
合計	1652	100%	100.0%



### Ⅲ 主な改善検討事例

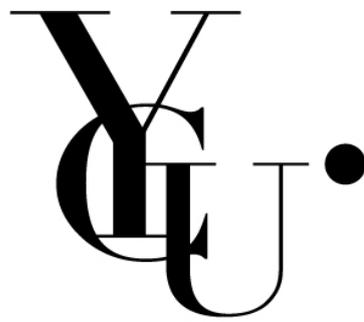
#### 1 附属病院

	検討項目	改善検討内容
1	「医療安全管理指針(共通編)第6版」発行	「医療安全管理指針(共通編)第6版」を全職員に配布した。リスクマネジャーを通じて、職員各自が熟読するよう周知した。 ①緊急時の応援要請「コード・ブルー」②説明と同意の原則③自己血輸血に関する事故予防マニュアル④新鮮凍結血漿の融解方法を新に加えた他、医療の目的に反して相当な有害事象が発生した際の連絡ルートについてフロー図を追加する等の一部改訂を行った。
2	新採用者「医療安全研修」の開始	4月から当院に異動および採用となる職員(全職種)を対象に、当院の医療安全の基本事項について研修を行った。これにより、当院の医療安全の基本ルールについて、統一した教育を行うことができた。
3	ポケット版 医療安全管理指針作成と配布	第6版の改訂を重ねた医療安全管理指針(共通編)をもとに、特に重要な事項について視覚的な説明の工夫を取り入れて、携帯用のポケット版医療安全管理指針(30頁)を作成した。全職員に配布し、改めて当院の医療安全のポイントを周知した。
4	医療安全に関する周知徹底の強化	医療安全に関するルール・注意喚起・講演会などの周知方法について、これまでの通知文書に加えて、リスクマネジャー宛の電子メールの連絡を新たに追加した。また、講演会開催などについて、電子掲示板による広報を開始するとともに、講演会出席者に参加者マークを発行し、職員への医療安全に関する周知の強化を図った。
5	「手術・検査指示票」の改訂	周術期肺血栓塞栓症予防対策の徹底をはかるために、「手術・検査指示票」に周術期肺血栓塞栓症のリスク分類を記載するチェック欄を追加し、同時に「アレルギーの有無」の記載欄を追加した。
6	行動制限のマニュアル、説明書、観察用紙を作成	院内での行動制限を標準化するとともに、患者さまの説明と理解を得る際の一助とするために、安全確保のための行動制限(身体抑制と隔離)の定義、考え方、行動制限の適応について基準、説明書、行動制限時の観察用紙を作成し運用を開始した。
7	周術期肺血栓塞栓症マニュアルの一部改訂	周術期肺塞栓血栓症の低リスク群は、間欠的空気マッサージと弾性ストッキングを併用していたが、術後1日目に離床するケースが多いことから、「手術翌日までに離床する予定の患者では間欠的空気マッサージ器を離床まで使用することを条件として、主治医の判断で弾性ストッキングの着用を省略できる」とマニュアルを改訂した。
8	抗がん剤(注射薬)払い出し時の説明書添付を開始	抗がん剤(注射剤)を薬剤部から払い出す際に、調剤・投与時に関する注意事項を記載した「抗がん剤説明書」の添付を開始した。 抗がん剤説明書には、バイアル内圧、投与時の注意、調製に関する注意点、血管外漏出時の皮膚障害等を記載した。
9	医学部学生の臨床実習の説明書・同意書の使用開始	医学部学生の臨床実習において、患者さまを受け持つ場合の説明書と同意書を作成し、実習開始時の診療科医師による説明と、同意書の記入を開始した。
10	錠剤・散剤分包紙に薬剤名等の印字を開始	薬剤分包紙に、患者氏名、薬剤名、規格単位等の印字を開始し、調剤時、与薬時のエラー防止対策の向上を図った。
11	CT申込用紙にペースメーカーのチェック項目を追加	一部の植え込み型ペースメーカーで、エックス線CT装置の影響による部分的電氣的リセット発生の連絡がメーカーからあったため、CT申込用紙にペースメーカーの有無を記載し、事前に確認するとともに、検査前の問診表にも項目を追加し、複数回の確認を行うこととした。

12	グリセリン浣腸のマニュアルの改訂	グリセリン浣腸の事故防止のために、日本看護協会の安全情報に基づき、基本的看護技術マニュアルに、立位によるグリセリン浣腸の危険性の項を追加するとともに、カテーテル挿入の長さを3～4cmとする改訂を行った。併せて、グリセリン浣腸をストッパー付きの製品に切り替えた。
13	薬剤確認の巡回を開始	各部署においてある薬剤について、適切な保管状況を確認するため、薬剤部による巡回を開始した。
14	院内防犯カメラ増設	院内防犯用カメラを、1階救急外来、4階管理部、6階産婦人科病棟に増設した。
15	外来採血室の改修	外来患者数の増加に対応するため、外来採血室を拡充し円滑な採血に務めるとともに、採血時のプライバシーを確保するため各人ごとにパーテーションを設ける改修を行った。
16	からだの情報コーナーの設置	病気・健康・医療のことなど勉強できる環境の提供、健康への関心と診療内容への理解を深め、患者さまと医療者のパートナーシップを強化するなどの目的で、患者さま向け情報コーナー「からだの情報コーナー」をオープンした。
17	手術終了時のエックス線撮影のマニュアル改訂	手術時のガーゼ・器具等の遺残予防のため、「①すべての開腹手術、開胸手術、腹腔・胸腔の鏡視下手術 ②①以外の遺残の可能性のある手術については、手術終了時のエックス線撮影を行う」という具体例を明示しルールの改訂を行った。
18	手術同意書の記載	左右のある臓器の場合、ひらがなで「みぎ」・「ひだり」と記載することにした。
19	輸血を拒否する患者さまの対応マニュアルの改訂	信仰上の理由で輸血を拒否する患者さまに対する、緊急時の対応マニュアルを改訂した。
20	曲面ミラーの設置	院内の見通しの悪いコーナー2カ所に患者さまとの衝突防止のために、曲面ミラーを試行的に設置した。
21	インシデントシステムの試行運用	これまで紙で提出していたインシデント報告を、院内LANによるオンラインで入力するインシデントシステムを導入し、新年度本格実施に向けて試行運用を行った。

## 2 センター病院

	検討項目	
1	薬剤使用時のアレルギー反応に対する留意事項の徹底	薬剤使用時のアレルギー反応に対する留意事項等を取りまとめ緊急時の連携体制を整備するとともに、安全管理情報として情報提供し周知徹底を図った。
2	院外からのX線フィルムのフィルムレス化に伴う対応	フィルムレス化に伴い、他の医療機関で撮影したX線フィルムについても電子データ保存することとし、その手順を定めて周知徹底を図った。
3	食事配膳表の改善	食事の配膳表の氏名は漢字表示であったが、氏名の読み間違えを防止するために漢字に振り仮名を付けるようにした。
4	放射線画像オーダー画面の改善	放射線画像オーダー画面で、左右に関するオーダー間違いを防止するため、上肢・下肢とも「みぎ」「ひだり」と平仮名表示に変更した。
5	全職員向けeラーニング講座の充実	全職員向けに「医療安全総論」および「医療コミュニケーション」の開講に引き続き、「褥創対策」「心肺蘇生」など専門的な内容の講座についても一層の充実を図った。更に、リスクマネージャー向けには、専門コースを設けて毎月開講することとした。
6	医学部学生の臨床実習の説明書・同意書の使用開始	医学部学生の臨床実習において、患者を受け持つ場合の説明書と同意書を作成し、実習開始時の診療科医師による説明と、同意書の記入を開始した。
7	薬袋に薬剤名の印字を開始	薬剤分包紙への患者氏名、薬剤名、規格単位等の印字に加えて確認しやすくするため薬袋に薬剤名を印字した。
8	院内緊急(ドクターコール)事例の報告システムの整備	院内緊急コール後には報告用紙を作成し、心肺蘇生部会において検証した結果、より迅速な対応を図るためコール時に〇階△科外来など具体的場所を明示してアナウンスすること、わかりにくい場所の場合は、入口に案内役を立てることなどの改善を図った。
9	医療安全管理マニュアルの改訂	マニュアルの項目を検索しやすくするとともに患者誤認防止のガイドライン等6項目の見直しと内容の充実を図り、基本指針となる「安全管理の考え方と体制」「安全文化を育むための具体策」、院内共通の「医療安全管理の基本手順」、資料編の三部構成とし改訂を行った。
10	手術中の「口頭確認」の再徹底	手術中の口頭指示や情報交換を正確かつ適時適切に行うため、従事する医療職間(診療科医師、麻酔科医師、看護師、臨床工学技師など)において必ず口頭復唱を行うことを再確認し、確認すべき事項を手術室内に掲示して周知するとともにその励行促進を図っている。
11	特別個室トイレのドアを引き戸に改修	特別個室のトイレのドアは内開き戸であったが、トイレ内で患者さまの転倒した際に救出が困難であるため引き戸に改修した。
12	e-learningによる対策の徹底	1月に「患者確認」、2月に「転倒転落対策」に関してコンテンツと設問を全職員向けに行い、対策の徹底をはかった
13	輸血拒否患者に対する対応	「宗教上の理由により輸血を拒否する患者に対応する対応マニュアル」を再確認、治療方針を明確にし、緊急時にも対応しやすくした。
14	院内暴力への対応	患者サイドから受ける暴力行為に対する認識に個人差があるので、職員が受けた暴力の実態を把握し、暴力への認識を図り、「院内暴力報告書」を作成対策の周知が必要なことを明確にした。
15	外来診療録への入院中の患者目印カードのサイズ変更	外来診療録表紙の「禁忌薬等重要事項」欄を隠すことのないよう、入院患者目印カードのサイズを小さくした。
16	食事時のお茶の配膳：小児に対しては冷茶に改善	小児病棟以外でも、幼児・小児食に配茶は冷茶とした。
17	病理組織検査結果の確認について	結果を確認して患者に説明する責任は主治医にあることを再確認し、さらに「内視鏡検査後の注意」用紙に、「結果については、次回外来時にご確認ください」と記載し、患者さまからも確認できるようにした。「患者に結果を尋ねる」ようなしかけを作った。
18	周術期肺塞栓症対策マニュアルを内科領域でも活用する為の整備	内科領域においては、背景条件が多岐にわたることから、現時点ではとくにマニュアルは定めない。しかし、周術期肺塞栓症対策マニュアルを関連10学会によるガイドラインが示されているので、参照の上、活用が出来るマニュアルの整備をした。
19	院外処方箋の患者氏名欄の改善	院外処方を確認する際、患者氏名を読みやすくする為、患者氏名欄のスペースを広くした。



YOKOHAMA  
CITY  
UNIVERSITY

# 参 考 資 料

(平成19年5月28日)

1 医療安全管理体制	.....	1
2 安全管理対策委員会の活動状況	.....	3
3 リスクマネージャー会議の活動状況	.....	7
4 安全管理研修の開催状況	.....	10
5 入院患者アンケート	.....	16
6 医療事故公表基準	.....	18
7 医療事故公表判定委員会にかかる設置要綱	.....	19

## 1 医療安全管理体制

### 医療安全管理の組織体制

#### ○統括安全管理者

副病院長の内の1名を任命し、病院における医療安全管理の推進、情報の収集・分析・評価等、医療安全管理活動の推進責任者として位置付けています。

#### ○安全管理指導者

統括安全管理者を補佐して、病院の医療安全管理全般にわたる指導、改善指示、職員研修の企画等を行う職として「安全管理指導者」を置き、日本で初の「医療安全管理学」教授（附属病院）、準教授（センター病院）をあてております。安全管理指導者は、医療安全管理学の学生教育も行っています。

#### ○安全管理者（リスクマネージャー）

医療安全管理に関する職場点検、業務改善、教育・指導、事故発生時の対応及び報告等を行うため、各病院の「医療安全管理室」に安全管理担当係長を2名（看護師、薬剤師）配置しているほか、診療部門・看護部門等の各部門に60余名の安全管理者（リスクマネージャー）を配置しています。

### 安全管理の推進のための委員会活動

#### ○安全管理対策委員会

統括安全管理者を委員長として、病院の医療安全管理活動を推進する中心として活動しており、インシデント報告の検討、改善策の検討と評価、医療安全管理の情報収集等を行っています。

#### ○リスクマネージャー会議

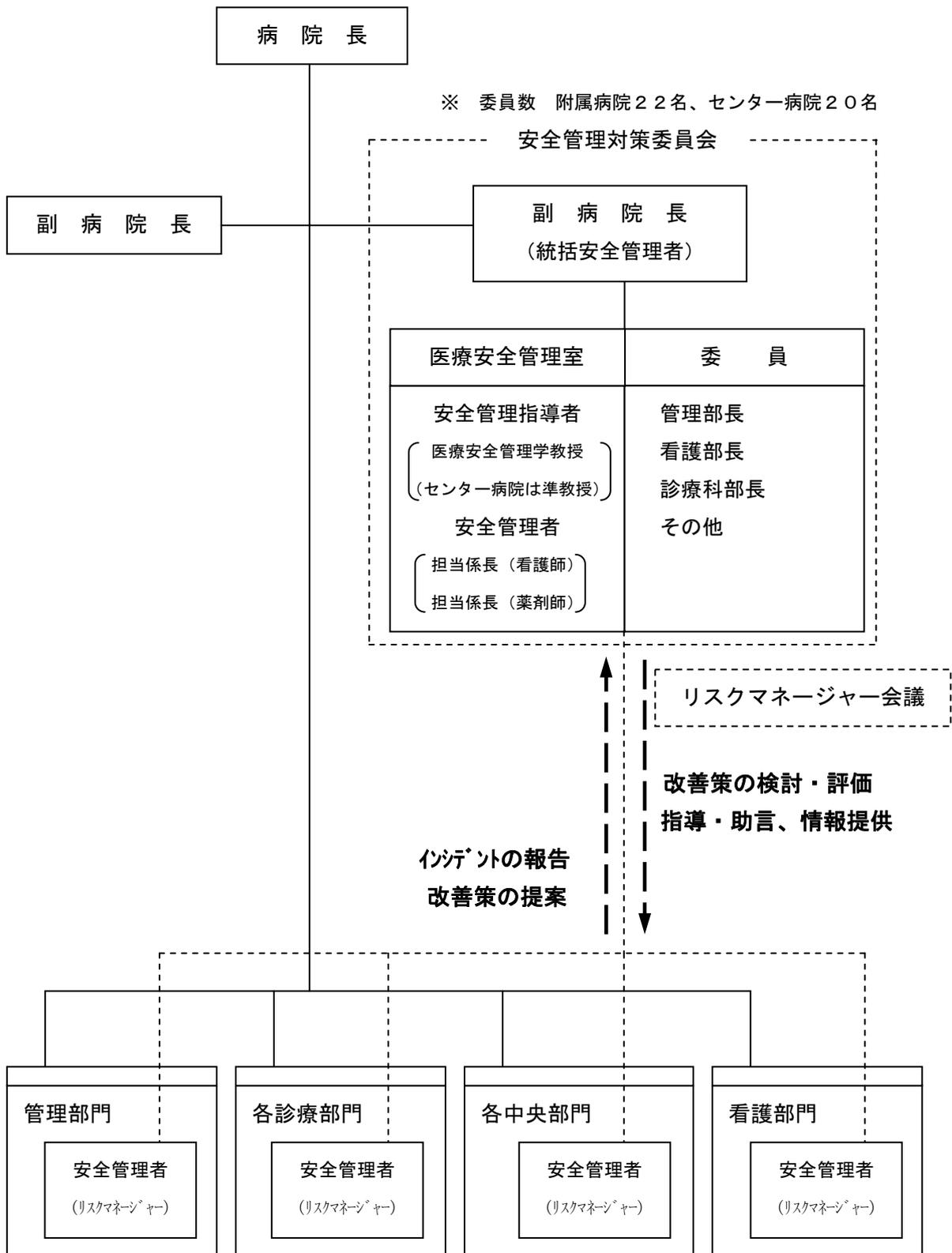
インシデント事例についての検討、各部署の取組の紹介、改善策の周知、「事故予防マニュアル」の作成、医療安全管理の情報提供等を行い、職員の安全管理意識を高める場としています。

### インシデント報告システム

病院の日常業務の中で、医療事故につながりかねない「ヒヤリ、ハット」したできごと（インシデント）を医療従事者が自主的に報告し、その情報をもとに、事故を未然に防ぐための改善策を確立するシステムです。

報告は、各部門のリスクマネージャーから医療安全管理室に報告され、安全管理対策委員会とリスクマネージャー会議を通じて改善策の検討と周知などを行っています。

# 市立大学附属2病院 安全管理体制図



※ 各部門のリスクマネージャー 附属病院66名、センター病院73名  
(委員等の人数は平成19年4月1日現在)

## 2 安全管理対策委員会の活動状況

附属病院		
開催日	主な議題	
第1回	4月17日	1 平成18年度 安全管理対策委員会 委員紹介 2 医療関連ニュース（3月23日～4月5日） 3 平成18年度 安全管理対策委員会 日程について 4 医療安全管理指針（2006年4月版）の改訂事項について 5 新採用および転入者向け医療安全研修の実施結果について 6 病棟薬剤保管状況の確認結果について 7 平成18年度 医療安全の主な取り組みについて
第2回	5月8日	1 医療関連ニュース（4月6日～4月26日） 2 平成18年度 リスクマネジャー会議分科会のテーマについて 3 「医療安全管理の徹底」の通知について 4 事例検討
第3回	5月22日	1 病院就業者の免許確認について 2 「術中のビデオ撮影の要望書」について 3 医学部学生の実習同意書について 4 安全確保のための行動制限について 5 薬剤業務システム変更に伴う処方箋表記の変更について 6 注射用抗生物質などによるアナフィラキシーショックについて
第4回	6月12日	1 医療関連ニュース（4月27日～5月24日） 2 第1回医療安全講演会開催について 3 ペグイントロンのオーダー画面の修正、払い出し時の注意紙の添付について 4 平成18年度 国公立大学附属病院リスクマネジャー研修について 5 平成18年度 関東信越管内特定機能病院連絡会議について 6 安全のための行動制限に関する説明書について 7 心肺蘇生+AED 研修の運営について 8 医療安全の啓発について 9 医療安全講演会 参加シールの交付について
第5回	7月10日	1 医療関連ニュース（5月25日～6月21日） 2 「平成17年度 医療安全管理の取り組み」について 3 第1回 医療安全講演会（6月19日）の実施結果について 4 医療安全講演会参加者への参加マークの配布について 5 周術期肺血栓栓症対策マニュアルの一部追補、「手術・検査指示票」の改訂 6 医療安全に関する各種プロジェクトの位置づけと安全管理対策委員会要綱の改訂 7 第9回医療安全対策会議（厚生労働省）について 8 事例検討
第6回	7月24日	1 医療関連ニュース（6月22日～7月12日） 2 第1回医療安全講演会ビデオ上映会について 3 医療安全病棟巡回実施状況について 4 医学部実習同意書について 5 事例検討
第7回	9月11日	1 医療関連ニュース（7月13日～8月23日） 2 ポケット医療安全管理指針について 3 医療安全講演会開催予定について 4 グリセリン浣腸について 5 自動対外式除細動器 ガイドライン2005対応機能への更新について 6 事例検討

第8回	10月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（8月24日～9月20日）</li> <li>2 医薬品・医療機器等安全情報の情報提供について</li> <li>3 「医薬品・医療機器副作用情報の情報収集と報告の流れ」の周知について</li> <li>4 AED機能更新について</li> <li>5 第3回 医療安全講演会開催について</li> <li>6 中心静脈カテーテル挿入プロジェクトメンバー選出について</li> <li>7 静脈炎・血管外漏出により壊死を起こす可能性のある薬剤について</li> </ul>
第9回	11月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（9月21日～10月25日）</li> <li>2 第2・3回 医療安全講演会実施について</li> <li>3 インシデントシステム導入について</li> <li>4 医学研究および教育に関する同意書・説明書について</li> <li>5 医療安全管理部門からの附属病院職員表彰について</li> </ul>
第10回	11月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（10月26日～11月15日）</li> <li>2 手術部門運営委員会審議事項について①手術同意書 ②手術室退室時の確認</li> <li>③手術終了時のエックス線撮影</li> <li>3 万年筆型インスリン注射器用注射針について</li> <li>4 厚生労働省主催 医療安全フォーラムの概要について</li> </ul>
第11回	12月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（11月16日～11月29日）</li> <li>2 中心静脈カテーテル挿入講習会開催、平成19年度中心静脈カテーテル挿入プロジェクトメンバーについて</li> <li>3 第15回 公表判定委員会について</li> <li>4 手術部門運営委員会の審議事項の医療安全管理指針掲載について</li> <li>5 医療安全に関する部門内検討・会議報告書提出状況について</li> <li>6 第2分科会「入院診療計画書とクリティカルパス」について</li> </ul>
第12回	12月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（11月30日～12月13日）</li> <li>2 厚生労働省特定機能病院 医療監視について</li> <li>3 第5・6回医療安全講演会開催について</li> <li>4 信仰上の理由により輸血を拒否する患者さまへの対応について</li> <li>5 事例報告</li> </ul>
第13回	1月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（12月14日～1月10日）</li> <li>2 第4・5回医療安全講演会実施について</li> <li>3 医療安全講演会ビデオ上映会開催について</li> <li>4 平成19年度 医療安全講演会テーマについて</li> </ul>
第14回	2月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（1月15日～2月7日）</li> <li>2 患者安全推進ジャーナル危険予知トレーニング、精神科領域における転倒・転落事故防止に記事について</li> <li>3 平成19年度 新採用・転入職員医療安全研修について</li> <li>4 インシデントシステムの研修開催について</li> <li>5 事例検討</li> </ul>
第15回	3月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（2月8日～2月28日）</li> <li>2 病院内コーナーへの曲面ミラーの設置について</li> <li>3 リスクマネジャー分科会活動報告会実施について</li> <li>4 平成19年度 新採用・転入職員医療安全研修ならびにビデオ上映会の開催について</li> <li>5 インシデントシステムの導入スケジュール、研修について</li> </ul>

第16回	3月26日	<ol style="list-style-type: none"><li>1 医療関連ニュース（3月1日～3月14日）</li><li>2 新採用職員・転入職員研修について</li><li>3 研修医オリエンテーションについて</li><li>4 インシデンスシステム研修実施について</li><li>5 平成18年度 医療安全取り組みについて</li></ol>
------	-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## センター病院

開催日		主な議題
第1回	4月10日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（3月分）の検討</li> <li>2 患者さま自身によるチューブの自己抜去について</li> <li>3 手術室タイムアウトの実施状況</li> <li>4 合併症懇話会について</li> </ol>
第2回	5月8日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成18年度安全管理重点課題と活動について</li> <li>2 インシデント報告（4月分）の検討</li> <li>3 胎児異常死届け出について</li> <li>4 グループ当直制の問題点、緊急時の院内協力について</li> </ol>
第3回	6月12日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（5月分）の検討</li> <li>2 病棟トイレドアの改善（引き戸に変更）</li> <li>3 緊急報告書の改定について（報告タイトル記入）</li> <li>4 CVC穿刺に関する報告</li> </ol>
第4回	7月10日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（6月分）の検討</li> <li>2 貼付剤に含有する金属と検査・AED等への影響について</li> <li>3 X-Pオーダー時の左右表示を下肢もひらがなで表示（上肢で試行中）</li> <li>4 経腸栄養ポンプの使用実態調査について</li> <li>5 e-learning安全管理コンテンツについて</li> </ol>
第5回	8月7日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（7月分）の検討</li> <li>2 医療安全管理マニュアルの改訂について</li> <li>3 入院診断書の申し込みにについて</li> <li>4 人工呼吸器の回路交換について（定期交換）</li> </ol>
第6回	9月11日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（8月分）の検討</li> <li>2 経腸栄養ポンプの使用実態調査報告</li> <li>3 安全管理巡回について（10月中に実施）</li> <li>4 グリセリン浣腸の危険性について</li> <li>5 MRI検査時の注意事項について（体内金属）</li> </ol>
第7回	10月10日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（9月分）の検討</li> <li>2 業務中断カードの利用について</li> <li>3 医療合併症懇話会について</li> <li>4 入院患者アンケート、医療コーディネーター報告書から</li> </ol>
第8回	11月6日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（10月分）の検討</li> <li>2 プロポフォール製剤の規格について</li> <li>3 禁忌薬等重要事項記載欄（外来診療録）の記載について</li> <li>4 ポケットマニュアルの作成について</li> </ol>
第9回	12月11日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（11月分）の検討</li> <li>2 3文字入力時に間違いやすい配列となった場合について</li> <li>3 内科領域における、肺塞栓症予防ガイドラインについて</li> <li>4 医療事故公表判定委員会について</li> </ol>
第10回	1月9日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（12月分）の検討</li> <li>2 医療合併症報告書について</li> <li>3 入院患者の外来カルテ管理について</li> </ol>
第11回	2月13日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（1月分）の検討</li> <li>2 医療合併症報告書について</li> <li>3 幼児へのお茶の配膳について</li> <li>4 筋肉注射部位への注意喚起</li> <li>5 19年度の重点課題と活動について</li> </ol>
第12回	3月13日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インシデント報告（2月分）の検討</li> <li>2 病理組織検査結果の確認について</li> <li>3 南福祉保健センターの指導について</li> </ol>

### 3 リスクマネージャー会議の活動状況

附属病院		
開催日	主な議題	
第1回	4月24日	1 平成18年度 リスクマネージャー紹介、会議日程 2 附属病院安全管理体制とリスクマネージャーの役割について 3 平成18年度 医療安全管理の取り組みについて 4 医療安全管理の徹底について～説明と周知について～ 5 医療関連ニュース（3月23日～4月5日） 6 リスクマネージャー分科会のテーマについて 7 医学研究および教育に関する説明書・同意書の検討について
第2回	5月16日	1 医療関連ニュース（4月13日～4月26日） 2 リスクマネージャー会議 分科会のテーマと運営について 3 平成18年度 医療安全病棟巡回について 4 分科会 第1分科会：医療安全管理教育 第2分科会：インフォームドコンセントの充実と強化 第3分科会：安全な環境づくり
第3回	6月5日	1 医療関連ニュース（4月27日～5月24日） 2 先端医科学研究センターバイオセンター構想について 3 行動制限（身体抑制・隔離）の説明書について 4 今年度医療安全病棟巡回の実施について 5 第1回 医療安全講演会開催について 6 医学情報センターの医療安全に関する図書について 7 分科会
第4回	7月3日	1 医療関連ニュース（5月25日～6月21日） 2 平成17年度 医療安全の取り組みの記者発表について 3 麻薬の取り扱い・管理の徹底について 4 患者確認の徹底について 5 第1回医療安全講演会の実施報告およびビデオ上映会開催について 6 講演会参加者マークの配布について 7 医療安全病棟巡回実施状況について
第5回	9月4日	1 医療関連ニュース（7月13日～8月23日） 2 医療安全に関する部門内会議検討報告書について 3 医療安全巡回の実施状況について 4 MRMニュース発行について 5 医療安全に関するプロジェクトの位置づけについて 6 事例報告 7 分科会
第6回	10月2日	1 医療関連ニュース（8月24日～9月20日） 2 医療安全管理指針ポケット版の配布について 3 グリセリン浣腸剤の使用について 4 第2回 医療安全講演会開催状況について 5 リスクマネージャー会議 分科会活動中間報告について ①第1分科会：新採用者・転入者の医療安全研修 ②第2分科会：インフォームド・コンセントの充実と強化 ③第3分科会：安全な環境づくり

第7回	11月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（9月21日～10月25日）</li> <li>2 第3・4回医療安全講演会開催予定について</li> <li>3 医療安全に関する部門内検討会議報告書提出について</li> <li>4 「ケタラール静注用の麻薬指定に伴う」取り扱い変更について</li> <li>5 MEセントラル生体患者情報システムの登録への患者氏名登録について</li> <li>6 静脈炎、血管外漏出時に組織壊死を起こしやすい薬剤について</li> <li>7 AEDの機能更新について</li> </ul>
第8回	12月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（10月26日～11月15日）</li> <li>2 院内LANを使用するインシデント報告システムの導入について</li> <li>3 手術部 ①手術同意書の記載について②手術室退室時の確認方法について ③手術終了時のエックス線撮影について</li> <li>4 第4・5回 医療安全講演会開催について</li> <li>5 心肺蘇生+AED研修開催について</li> </ul>
第9回	1月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（11月30日～12月20日）</li> <li>2 医療安全講演会実施報告および開催予定について</li> <li>3 中心静脈カテーテル挿入講習会開催について</li> <li>4 職場内会議報告書提出状況について</li> <li>5 患者確認の徹底の通知について</li> <li>6 インシデントシステムの概要、導入スケジュールについて</li> <li>7 信仰上の理由で輸血を拒否される患者さまの対応について</li> <li>8 リスクマネジャー会議分科会の職員表彰について</li> </ul>
第10回	2月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 リスクマネジャー分科会報告会</li> <li>2 インシデントシステムの概要と導入スケジュールについて</li> <li>3 第1分科会：新採用者、転入者研修のあり方</li> <li>第2分科会：インフォームド・コンセントの充実、入院診療計画書について、 医学研究・医学教育のための院内包括同意書について</li> <li>第3分科会：中央部門の安全管理巡回項目、麻薬・向精神薬管理、 医療機器の管理について</li> </ul>
第11回	3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療関連ニュース（1月15日～2月7日）</li> <li>2 インフルエンザ治療開始後の注意事項について</li> <li>3 第5・6回 医療安全講演会について</li> <li>4 平成19年度 新採用・転入職員医療安全研修について</li> <li>5 インシデントシステムの研修について</li> <li>6 平成18年度 各部署の医療安全の取り組みについて（5部署）</li> </ul>

センター病院

開催日		主な議題
第1回	4月17日	1 第72回安全管理委員会（4/10）報告 2 インシデント報告3月分 3 借用X Pの電子保存について 4 倫理的問題を含む事例への対処について 5 新任リスクマネージャー オリエンテーション
第2回	5月15日	1 第73回安全管理委員会（5/8）報告 2 インシデント報告（4月分） 3 今年度の課題について 4 今年度のグループワークについて（テーマを募集） 5 臨床倫理検討会について
第3回	6月19日	1 第74回安全管理委員会（6/12）報告 2 インシデント報告（5月分） 3 グループワーク
第4回	7月18日	1 第75回安全管理委員会（7/10）報告 2 インシデント報告（6月分） 3 人工呼吸器トラブル時の緊急対処方法について 4 経腸栄養ポンプの使用について 5 医療シンポジウム「RMの役割、部署として取り組むべきこと」
第5回	9月19日	1 第76、77回安全管理委員会（8/17、9/11）報告 2 インシデント報告（7、8月分） 3 安全管理巡回について（10月中に実施） 4 退院時の診断書申し込みの流れについて 5 グリセリン浣腸の危険性について 6 MR検査オーダー時の体内金属チェックについて
第6回	10月16日	1 第78回安全管理委員会（10/10）報告 2 インシデント報告（9月分） 3 業務中断カードの利用について 4 入院アンケート、医療コーディネーター報告書における患者さんの考えについて 5 安全管理研修会「医療従事者の法的責任と事故後対策」
第7回	11月13日	1 第79回安全管理委員会（11/6）報告 2 インシデント報告（10月分） 3 禁忌薬等重要事項の記入について 4 院外処方患者名について 5 安全管理巡回について
第8回	12月18日	1 第80回安全管理委員会（12/11）報告 2 インシデント報告（11月分） 3 肺血栓塞栓症/深部静脈塞栓症予防ガイドラインについて 4 院内暴力報告書（案）について 5 転倒転落状況チェックシートについて 6 第9回市大センター病院医療シンポジウム「患者さんへの接し方」
第9回	1月15日	1 第81回安全管理委員会（1/9）報告 2 インシデント報告（12月分） 3 外来カルテのアリバイ管理について 4 医療行為合併症報告書（案）について 5 院外処方、患者氏名欄の拡張について 6 グループワーク「暴力対策、転倒転落、チューブ管理、患者確認」今年度のとりまとめ
第10回	2月19日	1 第82回安全管理委員会（2/13）報告 2 インシデント報告（1月分） 3 手術時の患者家族への連絡について 4 上腕に筋肉注射を行うときの注意について 5 安全管理研修「今後のリスクマネージャーの役割」
第11回	3月19日	1 第83回安全管理委員会（3/12）報告 2 インシデント報告（2月分） 3 情報の共有、伝達について 4 南福祉保健センターよりの指導（改善要望）について 5 今年度グループワークの総括と次年度の考え方

#### 4 安全管理研修の開催状況

##### 附属病院

研修区分	開催日	対象	参加数	時間	内容
新採用・転入職員 医療安全管理研修 会およびビデオ上 映会	4/10 4/19	新採用・ 転入職員 後期研修 医 大学院生	127名 11名	各日 2 時間	「医療安全管理総論」 講師：佃 守（統括安全管理者）、橋本迪生（医療安全管理学 教授）、荒井稔（安全管理担当）、佐竹信子（安全管理担当） 「手術室における安全管理・中心静脈カテーテル挿入登録医制 度」 講師：菊地龍明（手術部医師） 「放射線診療の安全管理」 講師：零石一也（放射線部医師） 「感染対策について」 講師：満田年宏（臨床検査部医師） 「診療録記載について」 講師：水落和也（リハビリテーション科部長）
第1回医療安全講 演会およびビデオ 上映会	6/19 6/28	全職員	439名 138名	各日 1.5 時間	テーマ「横浜市立大学附属病院における医療安全管理について ～事例とその対応について～」 講師：野水桂子（センター病院安全管理担当）、小沢礼美（小 児科医師）、渡辺二治子（看護部副部長）、高橋宏和（消化器 内科医師）、佐竹信子（安全管理担当）
第2回医療安全講 演会およびビデオ 上映会	9/25 10/24	全職員	436名 125名	各日 1.5 時間	テーマ「病院内における自殺事故防止と身体抑制の適切な実施 について」 講師：平安良雄（神経科部長）、河西千秋（神経科医師）、杉 山直也（神経科医師）
第3回医療安全講 演会	10/30	全職員	152名	1.5 時間	テーマ「ヒトゲノム・遺伝子解析研究の留意点とゲノム時代に 求められる診療体制」 講師：福嶋義光（信州大学大学院医学研究科遺伝医学分野 信 州大学医学部附属病院遺伝子診療部）
第4回医療安全講 演会およびビデオ 上映会	12/12 1/30	全職員	270名 163名	各日 1 時間	テーマ「メディアからみた医療安全 ～安全・納得の医療～」 講師：飯野奈津子（NHK解説委員）
第5回医療安全講 演会およびビデオ 上映会	1/12 2/21	全職員	305名 81名	各日 1.5 時間	テーマ「安全な医療を求めて ～医療事故をめぐる諸問題への アプローチ～」 講師：加藤良夫（南山大学法学部教授、医療被害防止・救済シ ステムをめざす会（仮称）準備室代表）
第6回医療安全講 演会	2/5	全職員	299名	1.5 時間	テーマ「平成18年度 リスクマネージャー会議 分科会活動報告 会」 第1分科会：医療安全教育、第2分科会：インフォームド・コ ンセントの充実と強化、第3分科会：安全な環境づくり
平成18年度研修医 オリエンテーショ ン	4/3	研修医 (2年次)	41名	1 時間	「医療安全管理体制と事故防止」 講師：佃 守（統括安全管理者）、荒井稔（安全管理担当）、 佐竹信子（安全管理担当）
平成18年度研修医 オリエンテーショ ン	4/5	研修医 (1年次)	71名	各日 8 時間	「医療安全の基本理論」 講師：橋本迪生（安全管理学教授） 「医療安全実習：危険予知トレーニング」 講師：荒井稔（安全管理担当）、佐竹信子（安全管理担当） 「コミュニケーション演習」 講師：高塚人志（鳥取大学助教授） 「MR磁場体験」 講師：廣島 博（放射線技師）
平成18年度研修医 オリエンテーショ ン	4/6 4/6 4/7	研修医 (1年次)	71名	各日 7 時間	「与薬事故について」 講師：小池博文（薬剤師） 「患者医師関係」 講師：長谷川修（センター病院安全管理指導者） 「院内感染対策」 講師：満田年宏（臨床検査部医師）

平成18年度研修医 オリエンテーション	4/8 4/9	研修医 (1年次)	71名	各日 8 時間	「BLSヘルスケアプロバイダーコース」 講師：鈴木範行（センター病院救命救急センター医師）
平成18年度研修医 オリエンテーション	4/11 4/12	研修医 (1年次)	35名	各日 5.5 時間	「ボンベの安全」 講師：大塚将秀（集中治療部医師） 「ME機器実習」 講師：人工呼吸器教育・研修プロジェクト 「臨床検査の安全管理」 講師：渡邊眞一郎（臨床検査部部長） 「輸血の安全」 講師：前田清子（輸血部臨床検査技師）
平成18年度新採用 看護師オリエン テーション	4/6 4/6 4/7	新採用看 護師	51名 51名 51名	各日 3.5 時間	「医療安全管理の基礎」 講師：橋本迪生（安全管理学教授） 「安全管理体制と事故防止」 講師：佐竹信子（安全管理担当） 「放射線診療における安全管理」 講師：雫石一也（放射線部医師）
中心静脈カテーテ ル挿入講習会	4/28 5/31 1/24	研修医・ 医師	27名 15名 10名	各日 1.5 時間	講師：菊地龍明（手術部医師）、秋山浩利（乳腺外科・臨床腫 瘍科医師）
心肺蘇生+AED	5/25 6/22 7/18 9/19 10/19 11/28 12/19 1/16 2/20 3/13	全職員	189名	各日 2 時間	テーマ「心肺蘇生+AED研修」人工呼吸、心臓マッサージ、 自動体外式除細動器の使用について 講師：宮下徹（麻酔科医師）、中村京太（麻酔科医師）、紙谷 義孝（麻酔科医師）院内インストラクター（医師・看護師）
感染対策研修会①	9/7	全職員	99名	1.5 時間	「結核の基礎と院内感染予防について」 講師：綿貫 祐司（呼吸器内科部長）
感染対策研修会②	12/7	全職員	99名	1.5 時間	「針刺しの脅威」 講師：満田年宏（臨床検査部医師）
感染対策研修会③ 第18回 感染対策懇話会	3/13	全職員	142名	1.5 時間	「最新の感染症と対策」 講師：杉江 拓也（厚生労働省健康局感染症課）
接遇研修①	10/16	全職員	228名	1.5 時間	テーマ「なぜ今接遇なのか・・・？ ～患者さんに信頼される医療 スタッフになるポイント～」 講師：新村正次（接遇技能研究会主宰）
接遇研修②	1/31	全職員	143名	2.0 時間	テーマ「患者に信頼される医療スタッフを目指して ～スマイ ル&リフレッシュ研修～」 講師：黒部和夫（オンワード樫山メンズ商品開発室長）、富川 栄（資生堂ビューティークリエイション研究所所長）

呼吸ケア研修 人工呼吸器編	6/23 11/24 7/21 12/22 8/25 1/26 9/29 2/23 10/27 3/23	看護師	11名 11名 11名 8名 9名 8名 12名 10名 11名 9名	各 1.5 時間	①×2回「人工呼吸器の管理」 講師：細路史子・飯田八重子・福島麻弓（重症集中ケア認定看護師） ②×2回「気管内吸引・ジャクソンリースの使用法」 講師：飯田八重子・立石由紀子・細路史子・稲葉桜（重症集中ケア認定看護師） ③×2回「呼吸理学療法」 講師：後藤祐子・稲葉桜・立石由紀子（重症集中ケア認定看護師） ④×2回「口腔ケア・カフ上部洗浄」 講師：稲葉桜・後藤祐子・飯田八重子（重症集中ケア認定看護師） ⑤×2回「挿管チューブの止めなおし」 講師：立石由紀子・福島麻弓・後藤祐子（重症集中ケア認定看護師）
看護部 安全管理講習会	7/4 ～ 7/7	看護師	43名 43名 48名 44名 54名 35名 53名 35名	4 日間	1日目 「医療安全管理学概論」講師：橋本迪生（安全管理学教授） 「医療における安全とは」講師：佐竹信子（安全管理担当） 2日目 「看護師の役割と法的責任」講師：北澤龍也（弁護士） 「看護倫理」講師：佐藤奈々子（小児専門看護師） 3日目 「ヒューマンファクターと安全文化」講師：佐相邦秀（電力中央研究所ヒューマンファクター研究センター主任研究員） 「事例の分析と活用（演習）」講師：佐相邦秀 4日目 「看護業務とリスクアセスメント」講師：安井はるみ（神奈川県看護協会医療安全対策課課長） 「事前課題についてグループワーク」 看護部教育委員会
人工呼吸器研修 レベルⅠ	7/11 10/17 12/19	看護師・ 研修医	25名 25名 15名	各日 1.5 時間	テーマ「人工呼吸器研修レベルⅠ」 人工呼吸器教育・研修プロジェクト主催 講師：大塚将秀（集中治療部医師）、並木陽明・伊藤洋・水越加奈子（臨床工学技士）
人工呼吸器研修 レベルⅡ	9/12 11/21 1/9	看護師・ 研修医	13名 21名 16名	各日 1.5 時間	テーマ「人工呼吸器研修レベルⅡ」 人工呼吸器教育・研修プロジェクト主催 講師：大塚将秀（集中治療部医師）、並木陽明・伊藤洋・水越加奈子（臨床工学技士）
MR磁場体験研修	1/31 2/27 3/29	全職員	20名 20名 6名	各日 1.0 時間	テーマ「MR磁場体験研修」MRの特性、検査環境について、MR室内での磁場体験 講師：当院放射線技師
看護部教育研修 ステップⅠ	4/28	看護師	43名	0.5 日間	テーマ：「フィジカルアセスメント」 内容：観察の知識・技術など 講師：飯田八重子・細路史子（重症集中ケア認定看護師）
看護部教育研修 ステップⅡ	5/9	看護師	43名	2 時間	テーマ「安全なME機器操作」 内容：ME機器の操作、トラブル発生時の対応 講師：臨床工学技士
看護部教育研修 ステップⅢ	6/15	看護師	34名	2 時間	テーマ「あれ、何かおかしい・・・その時、あなたは・・・」 内容：急変時の対応 講師：立石由紀子・稲葉桜・細路史子・飯田八重子・後藤祐子・加藤直美・福島麻弓（重症集中ケア認定看護師）
看護部教育研修 ステップⅣ	7/19 7/20	看護師	16名 15名	各日 1.0 日間	テーマ「あれっ、これでいいのかな ～思い切って聞いてみよう～」 内容：与薬における看護職の責任、内服薬・注射薬の与薬について、トラブル発生時の対応 担当：看護部教育委員会
看護部教育研修 ステップⅤ	11/15 11/16	看護師	14名 15名	各日 1.0 日間	テーマ「よく考えよう！！気づきは大事だよ」 内容：看護過程と危険予知トレーニング 担当：看護部教員委員会

静脈注射研修 (看護)	10/31 12/14	看護師	57名 48名	各日 1.5 時間	テーマ「看護師による静脈注射の動向および看護部の方針」 講師：石川崇子（副看護部長） テーマ「静脈注射を受ける患者の看護」 藤波富美子（教育担当師長）
静脈注射研修 (薬剤)	11/15 1/24	薬剤師	49名 39名	各日 1.5 時間	テーマ「注射剤の基礎知識」 講師：松井周一（薬剤部）

センター病院

研修区分	開催日	対象	参加数	時間	内容
新任医師オリエンテーション	4/3, 4/4	全異動医師	120名	18時～20時	講師：病院長、安全管理指導者など。 内容：当院での安全管理の方針や基本的ルールなど、異動者が知っておくべき事項を整理して伝達した。
新採用者オリエンテーション	4/5～4/7	新採用看護職	45名	17.5時間	講師：大嶋副看護部長、岡田副看護部長、各委員会担当師長 内容：看護体制、教育プログラム、業務内容、安全管理、感染管理、個人情報について等
看護技術演習 与薬・輸液	4/6	新採用看護職	45名	1.5時間	講師：野水桂子看護師長、川合淑子看護師 講義：新人のインシデント内容について、ネームバンドの取り扱いについて、投与時の確認方法等 演習：ネームバンドの取り扱い、患者確認の仕方
看護技術演習 輸液ポンプ・シリンジポンプ	4/6	新採用看護職	45名	2時間	講師：菅原浩二臨床工学技師 講義：輸液ポンプ・シリンジポンプの使い方、特性重要ポイントについて 演習：輸液ポンプ・シリンジポンプの使い方の操作実施
看護技術演習 心電図	4/6	新採用看護職	45名	1.5時間	講師：8-2病棟 CCU 遠藤弘子看護師 講義：正常波形について、心電図・12誘導心電図の装着時の注意点・装着方法等 演習：レサシアンを用い、3点心電図・12誘導心電図の装着方法の実施
看護技術演習 酸素療法	4/6	新採用看護職	45名	1.5時間	講師：重症集中ケア認定看護師 卯月さえ子 講義：酸素療法の必要性、酸素量訪中の患者の観察ポイント、酸素療法の実際等 演習：酸素療法、パルスオキシメーターの使用の実施
看護技術演習 心肺蘇生	7/12	新採用看護職	43名	1日間	講師：救急看護認定看護師 鈴木久美子・山村多希子 重症集中ケア認定看護師 戸田恵・卯月さえ子・前澤綾・平井律子 講義及び演習： 心肺蘇生の方法、AEDの扱い方について
安全管理研修	10/6	新採用看護職 (新卒者及び希望者)	26名	3時間	講師：鷲森博美看護師長 講義：インシデント事例から学ぶ安全な看護について
1年目臨床研修医オリエンテーション	4/10～4/14	1年目研修医	37名	全日	講師：臨床研修プログラム責任者など。 内容：基本手技、看護、医療情報、輸血、人工呼吸器などに関する実習。
新任リスクマネージャー研修	4/17	新任リスクマネージャー	6名	18時～19時	講師：安全管理指導者 内容：リスクマネージャーとしての心構えおよび知っておくべき事項を整理して説明。
リスクマネージャーによるグループワーク	6/19, 9/19, 11/13, 1/15	全リスクマネージャー	70名	18時～19時	内容：4つの班(患者確認、チューブ管理、暴力対応、転倒転落)に分かれて、成果を出すべく議論。
第8回市大センター病院医療シンポジウム	7/18	全職員	70名	18時～19時30分	司会：統括安全管理者、安全管理指導者 内容：院内7名のシンポジストによる話題提供を基調として、リスクマネージャーの役割に関する共通認識を形成した。
中心静脈穿刺に関する講習会	5/23, 10/25	全医師	50名	18時～19時30分	講師：安全管理指導者、血液内科部長、麻酔科部長 内容：中心静脈カテーテル挿入・留置に関するガイドラインおよび運用マニュアルにつき解説の後実習。

診療録に関する講演会	5/26	全職員		18時～19時30分	講師：石川 澄先生(広島大学病院医療情報部) 内容：「開示に堪える医療記録とは」と題して、日本医療機能評価機構で作成した診療録記載ガイドラインを中心に講演。
研修医向けアフタヌーンセミナー	毎週金曜日	1・2年目研修医	70名程度	15時～16時	講師：各部署スタッフ 内容：研修医による5分間プレゼンテーション、その後各部署持ち回りでプライマリケア必要事項のセミナー。
心肺蘇生研修会	4/19, 5/19, 5/25, 6/19, 7/19, 8/18, 8/23, 9/19	全職員(医療者・非医療者に分けて)	274名	18時～20時	講師：救命救急センター医師など 内容：講義と演習(心肺蘇生法、AEDの使用法)
医療合併症懇話会	9/26	全職員	12名	18時～19:30	内容：医療合併症への対応に関して自由に議論した。指導医の顔の見えることが必要。患者側の納得が十分でない例は報告と病院としての対応が必要など。
ビデオアトリウム	4/18～9/22に15回開催	全職員	延べ約200名	17時30分～19時	優れた企業経営を気軽に、自主的に学ぶことを目的とした、院内全関係者向け、放課後のビデオ自主鑑賞会。
安全管理e-learning		全職員	約1,000名	随時、自己学習	7月：安全管理総論 8月：医療コミュニケーション 1月：患者確認 2月：転倒転落対策
安全管理研修会	10/16	全職員	64名	18時～19時30分	内容：「医療従事者の法的責任と事故後対応」外部講師による講演と質疑応答
第8回市大センター病院医療シンポジウム	12/18	全職員	70名	18時～19時30分	司会：統括安全管理者、安全管理指導者 内容：院内5名のシンポジストによる話題提供を基調として、「患者さんへの接し方」に関して議論した。
安全管理研修会	2/19,	全職員	56名	18時～19時30分	内容：「これからのリスクマネジメントー今後のリスクマネージャーの役割」外部講師による講演と質疑応答
医療ガス研修会	11/6,	全職員	110名	18時～19時	院内講師により、医療ガスおよびボンベに関する基礎知識を再確認した。
院内感染対策講習会	10/10	全職員	61名	18時～19時30分	「インフルエンザについて」：医療従事者向けの基礎知識、新型インフルエンザについて

## 5 入院患者アンケート（附属病院の例）

### 入院患者さんアンケート

このアンケートは、皆さんが入院療養中にお感じになったことについてうかがい、病院の安全管理対策や医療サービスの質を向上させていくことを目的としています。皆様から頂戴したご意見を参考に、より信頼される病院づくりに向け、職員一同、励んで参りますので、率直なご意見をいただければと思います。ご協力をお願いします。

アンケートにつきましては、退院の際または退院後外来にご来院されました折に、2階総合案内カウンター（土・日曜、祝日は1階防災センター）に設置してあります回答箱に投函くださるよう、お願いいたします。

横浜市立大学附属病院長

1 貴方様が入院期間中に受けた、病状や治療方針の説明は分かり易かったですか。

（該当する口にし点をつけてください）

- 良く理解できた                       一応理解できた                       どちらでもない  
 余り理解できなかつた               全く理解できなかつた  
 その他 \_\_\_\_\_

2 入院中の治療、検査、処置など診療全般について、医療安全管理上問題があったと思われたこと、その他に気づかれたことや不満に思われたことがありますか。

（該当する口にし点をつけてください）

- ある               ない

3 「ある」とお答えいただいた方は「いつ」「どのようなことか」などを具体的にお書き願います。

---

---

---

---

---

---

---

4 医師，看護師，薬剤師，技師などの対応について，どうお感じになりましたか。

(該当する□にシ点をつけてください)

- 非常に良い       まあ良い       普通       やや悪い  
 非常に悪い       分からない

5 病室，トイレ，デイルーム，食事など院内の療養環境について，あなたの印象に最も近いものはどれですか。      (該当する□にシ点をつけてください)

- 満足     やや満足     やや不満     不満     何とも言えない

6 職員の対応や療養環境，その他，お気づきの点があれば自由にご記入下さい。

---

---

---

---

7 おかかりの診療科と病棟を記入して下さい。

① 入院した病棟 \_\_\_\_\_ 病棟

② 診療科 (該当する□にシ点をつけてください)

- リウマチ・血液・感染症内科     呼吸器内科     循環器内科  
 腎臓・高血圧症内科     消化器内科     内分泌・糖尿病内科     神経内科  
 脳卒中科     神経科     小児科     一般外科     心臓血管外科  
 心臓・小児循環器     消化器・肝移植外科     臨床腫瘍・乳腺外科  
 整形外科     皮膚科     泌尿器科     産婦人科     眼科     耳鼻咽喉科  
 放射線科     歯科     腔外科     麻酔科     脳外科  
 リハビリテーション科     形成外科     小児精神神経科

8 差し支えなければご記入下さい。

ア 性別： 男性・女性 (該当する方に○をつけてください)

イ 年齢 \_\_\_\_\_ 歳

ウ ご住所 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

ご記入の日 平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 (ご協力ありがとうございました)

## 6 医療事故公表基準

### 医療事故の公表について

平成13年2月16日

横浜市立大学医学部附属病院は、平成11年1月の患者取り違え事故をはじめ、薬剤ラベル貼り付けミスなど、これまでに引き起こした医療事故の反省の上に立って、病院を挙げて医療安全管理の徹底に努めてまいりました。

医療の安全管理を進め、患者さんの安全を確保するとともに、医療事故の発生などの情報を公表することによって、病院運営の透明性を高めることが、医療の信頼を回復するために重要であります。

そこで、横浜市立大学では、医学部附属病院及び同市民総合医療センター（以下「附属2病院」といいます。）がどのような場合に医療事故の情報を公表するかを検討するため、平成12年8月7日に市立大学病院改革委員会のもとに医療事故公表基準作成特別委員会を設置しました。同特別委員会は、これまでに6回の審議のほか、市民、市会議員、医療関係者、法律専門家、評論家など多くの有識者・専門家の方々からのご意見を伺いながら検討を進め、附属2病院における医療事故の公表についての考え方をとりまとめました。

#### 1 医療事故の公表の意義

医療事故を公表することには、次のような意義があるものと考えます。

- (1) 平成11年1月に起こした患者取り違え事故を契機に、医療事故が大きな社会問題となっているが、当事者として、医療における安全管理を徹底していくために自発的に医療事故を公表していく責務がある。
- (2) 医療事故を公表し適切な対応をとることは、附属2病院の社会的な責任であるとともに、病院運営の透明性を高めることにより、市民からの信頼回復が図られる。
- (3) 医療事故を公表することは、他の病院の医療安全管理にとっても重要な情報提供になる。

#### 2 用語の定義

本報告において使用する用語の定義は、次のとおりです。

##### (1) 医療事故

患者さんが本来持っていた疾病や体質などの基礎的条件によるものではなく、医療においてその目的に反して生じた有害な事象をさす。医療事故には、医療内容に問題があって起きたもの（過失による医療事故）と医療内容に問題がないにもかかわらず起きたもの（過失のない医療事故）とがある。

##### (2) インシデント事例

医療従事者が医療を行ううえで、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験を有する事例で、医療事故には至らなかった場合をさす。

#### 3 医療事故の公表基準

附属2病院は、今後、次のいずれかに該当する医療事故が発生した場合は、患者さんとご家族の同意のもとに、これを速やかに公表します。公表にあたっては、原則として、4の「医療事故判定委員会（仮称）」の意見を聞くものとします。

- (1) 過失による医療事故で、それが死因となった場合、もしくは「生命の危険等、深刻な病状悪化をもたらす」、「治療しても治癒しない」、「治癒するがかなりの負担を強いる」など、患者さんに相当の有害な結果を生じた場合。
- (2) 過失による医療事故で、有害な事象の程度が軽微であっても、病院の医療安全管理上重大であると判断される場合。
- (3) 患者さんに相当の有害な結果を生じた医療事故で、過失によることが明らかでなくても、公表すべきと判断される場合。  
また、上記以外の過失による医療事故は、包括的な形で一括して公表します。  
なお、インシデント事例は原則として公表しません。

#### 4 医療事故の公表の判断・判定について

医療事故の公表の判断・判定に関して、病院長の諮問機関として、外部の有識者、他の医療機関等の医師、横浜市立大学教職員などにより構成する「医療事故判定委員会（仮称）」を設置します。

当委員会は、病院長の諮問により、以下の項目を審議します。

- (1) 速やかに公表すべき医療事故であるか否か、について。
- (2) 医療事故に関して患者さんとご家族に対する説明が十分になされたか、また公表に関する同意が得られたかの状況の確認、及び公表の範囲について。
- (3) 患者さんのプライバシー・人権への配慮と、社会に対する説明責任との比較考量について。
- (4) その他、医療事故公表基準の運用に当たって重要な事項について。

病院長は、審議結果を受け、公表について意思決定します。ただし、速やかに公表すべきと判断される場合で委員会を開催するいとまがない場合は、事後に報告するものとします。

## 7 医療事故公表判定委員会にかかる設置要綱

### 公立大学法人横浜市立大学附属病院及び附属市民総合医療センターにかかる 医療事故公表判定委員会設置要綱

平成17年4月1日 制定

#### (目的及び設置)

第1条 公立大学法人横浜市立大学附属病院及び附属市民総合医療センター（以下「附属2病院」という。）における医療安全管理を推進するとともに、病院運営の透明性を高め、医療事故についての社会的な責任を果たすため、市立大学に医療事故公表判定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

#### (所掌事項)

第2条 委員会は、病院長の諮問により次の項目を審議し、意見を述べるものとする。

- (1) 諮問された案件が、速やかに公表すべき医療事故であるか否かについて
- (2) 諮問された案件に関して、患者・家族に対する説明が十分になされたか、また公表に関する同意が得られたかの状況の確認、及び公表の範囲について
- (3) 諮問された案件にかかる患者のプライバシー・人権への配慮と、社会に対する説明責任との比較考量について
- (4) 医療事故公表基準の運用に当たって重要な事項について
- (5) 医療安全管理の取組、インシデント報告システムの運用等について

#### (組織及び任期)

第3条 委員会は、理事長が委嘱する次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 医療安全管理に関する学識者・専門家
  - (2) 他の医療機関等の医師
  - (3) その他理事長が指名した者
- 2 前項の委員の任期は、委嘱の日から2年間とし、再任を妨げないものとする。
- 3 委員会に委員長を置き、委員長は委員の互選により定める。
- 4 委員長は、会務を統括し、委員会を代表する。
- 5 委員長は、必要に応じて委員会を招集し、会議の議長となる。

#### (秘密の保持)

第4条 委員会の委員として知り得た事項に関しては、正当な理由なく他に漏らしてはならない。

#### (庶務)

第5条 委員会の庶務は、経営企画室病院経営担当及び附属2病院管理部総務経営担当において処理する。

#### (その他)

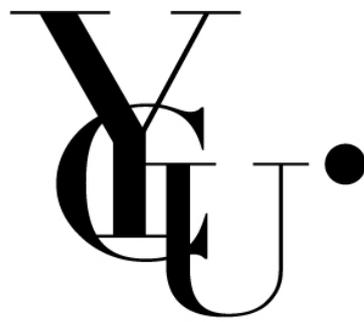
第6条 委員会の運営その他必要な事項に関しては、委員長が別に定める。

#### 附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

#### 医療事故公表判定委員会 委員名簿 (敬称略：五十音順)

氏 名	現 職 等
あまかわ たかのり 天川 孝 則	横浜市立みなと赤十字病院 顧問
いまい みつお 今井 三 男	(社)横浜市医師会 会長
しいの とくこ 椎野 恵 子	ランパスの会 (病院ボランティアグループ) 代表
なかやま ひでゆき 中山 秀 行	本町中央法律事務所 弁護士
ほさか ひろお 保坂 洋 夫	(恩)済生会 横浜市南部病院 病院長
ほり きくこ 堀 喜久子	(社)神奈川県看護協会 常務理事
ほんだ こういち 本田 耕 一	関東学院大学 副学長
もりた まさゆき 森田 雅 之	(社)神奈川県病院薬剤師会 会長



YOKOHAMA  
CITY  
UNIVERSITY